

# 豊坂っ子通信

令和2年度  
豊坂小校長室だより  
R2・9・9  
No. 8  
発行 本多 宣子

## 共によさを さぐり 考えて ピンチをチャンスへ

先週、例年同じ日である9月1日に2学期がスタートしました。  
校内テレビ放送で行った始業式で、子どもたちに話した内容は下記のとおりです。

今日から9月です。2学期のスタートにあたり、お話しします。

先週の1学期終業式に、1学期の「豊坂小・あいうえお」について自分でふり返し、とても頑張った子は◎、頑張った子は○、あまり頑張れなかった子は△に手を挙げてもらいましたね。すると、「い・一生懸命勉強」が◎の子は半分以上の約6割と大変多く、○もあわせるとほとんどの子が頑張ったと感じていることがわかりました。頑張ったと自信をもち、自分で自分を認めることができることは、とてもよいことですね。そして、もう一つわかったことは、先生たちは大変頑張っているように思っても、○や△に手を挙げた子がいました。これは、きっと「目標まではできていない」「もっとできる」と感じた意欲の表れだと思います。この「自分に厳しく、まだできる、もっともっとできる」という気持ちも大切です。2学期は、目標に向けてどんどん頑張る姿をたくさん見せてくれそうで、とても楽しみです。

今年度は2学期もコロナ対策のため、今までと同じように行事や活動を行うことは難しく、10月のすもう大会、11月の学芸会も同じようにはできません。だからこそ、豊坂小のみんな一人一人がアイデアを出し合い、自分たちでよりよくする時です。「どうすればいいんだろう？」と、「ピンチ」に感じますが、「ピンチはチャンス」です。辛く苦しいピンチの状況のときこそ、新たなことをスタートするのに絶好の機会、チャンスです。昔から伝わることわざに、「災い転じて福となす」という言葉があります。「自分の身にふりかかった災いを上手く利用して、逆に自分の福になるよう工夫すること」という意味です。ここで大切なことは、「チャンスに変える」のも、「災いを福に変える」のも、自分自身、自分が考えてとる行動によるということです。

そこで、豊坂小のみんなに大切にしてほしいことは、「と・よ・さ・か」です。「共に・よさを・さぐり・考えましょう」。そして、2学期は、全校393名が、今、この時を大事に「本気」で取り組み、「本気がいっぱい」の豊坂小にしましょう。みんなの頑張る姿を楽しみにしています。  
みんなで、一緒に頑張りましょう。



## シェイクアウト訓練：しせいを低く、頭を守り、じっとする



9月2日、本年度2回目の避難訓練を行いました。今回は、地震発生時にどのように避難するかを各学級で確認をし、緊急地震速報に合わせて避難をしました。

地震の音響が流れている間は、机の下にもぐって机が動かないように足をしっかりもちました。そして、避難時は机の上にあった教科書や机にかけてあった赤白帽子などで頭を守り、素早く避難しました。

その後、全校児童でシェイクアウト訓練を行いました。「自分の命は自分で守る」ために、身体で覚え、力をつけていきたいと思っています。



# 各学級での授業風景

昨日予定していた授業参観が実施できなかったため、一部ですが様子を紹介します。



1年生は多くの子が挙手をし、意欲的に発言をしています。また黒板を見たり、友だちの話をしっかり聞いたりして学習しています。



2年生は、教科書の文を指で追いながら音読したり、隣の友だちに発表したりして自信をもって学習しています。

3年生は、教科書や資料をしっかり読んだり、考えを近くの友だちに伝えたりしています。



5年生は友だちの話を聞き、自分たちで意見を出し合う姿がたくさん見られています。



4年生は、姿勢よく授業に向かい、自分の考えをしっかりと文章に書いたり、活動に取り組んだりしています。



授業に集中する6年生の姿勢は素晴らしく、目が輝いています。じっくり考えて、ノートにまとめる姿も多く見られます。さすがですね。

